

令和7年度 海外から招聘した教員の活動実績一覧

期 間	所属機関（派遣元）	招聘期間中の活動実績
2025.7.4～2025.7.31	北京外国語大学	中国人日本語学習者のサイトトランスレーション時における言語情報の処理過程および中国人日本語学習者のL2日本語のコロケーションの処理過程に関する研究を行った。2025年7月24日（木）に日本語教育研究国際フォーラム「認知心理学の視点から捉える日本語学習者研究の新展開」を、学習院大学文学部日本語日本文学科・学習院大学文学会・学習院大学国際センターと共催の形式で開催し、「通訳の遂行過程における言語処理と認知制御」と題する講演を行った。
2025.9.6～2025.10.5	フランス高等実践院	9月25日、学習院大学にて、「中国の神々が自らを語るとき——靈感による筆記（扶乩）によって啓示された自叙伝（1200～1900年）」（"Quand les dieux chinois se racontent eux-mêmes: Les autohagiographies révélées par l'écriture inspirée, 1200-1900"）と題する講演を行った。
2025.10.2～2025.10.19	ギーセン大学（ドイツ）	ホロコーストをテーマにした文学とそれが作り出す公共圏について共同研究を行った。具体的には、10月9日（木）に学習院大学でアンネ・フランクとその現代的な意義について講演を行っていただいたほか、岩波書店、東京大学、獨協大学、ホロコースト教育研究資料センター、京都大学及び日本独文学会秋季研究発表会で講演会・討論会を開催し学内外の幅広い分野の研究者と議論を行った。
2026.3.1～2026.3.15	オクスフォード大学（英国）	英国の近代文学とジェンダー再編成について、特にジェイン・オースティンの作品と定期刊行物のファッションに関する記事とスタイル画における英帝国主義への応答に注目しながら共同で研究を行った。成果は2026年3月1日に公開講演会（英語英米文化学科主催・身体表象文化専攻後援）で発表し、学内外の関連分野の専門家を含む幅広い研究者と意見交換を行った。